経営比較分析表（令和6年度決算）

山口県　和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	75.47	29.20	2,156	

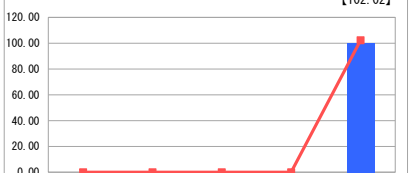
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
5,695	10.58	538.28
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
1,660	0.99	1,676.77

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【102.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	100.22
平均値	-	-	-	-	102.26

②累積欠損金比率(%)

【26.96】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	0.00
平均値	-	-	-	-	82.37

③流動比率(%)

【142.39】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	136.13
平均値	-	-	-	-	101.60

④企業債残高対給水収益比率(%)

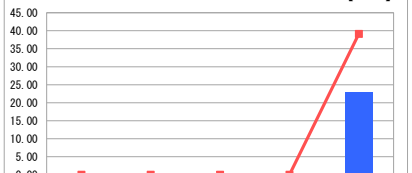
【1,043.36】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	160.46
平均値	-	-	-	-	1,398.03

⑤料金回収率(%)

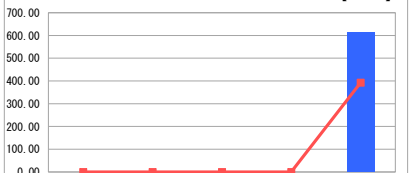
【56.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	22.84
平均値	-	-	-	-	39.15

⑥給水原価(円)

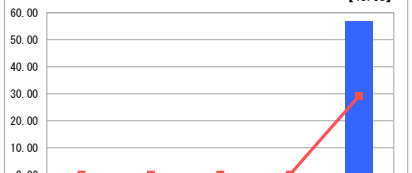
【285.60】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	614.75
平均値	-	-	-	-	392.81

⑦施設利用率(%)

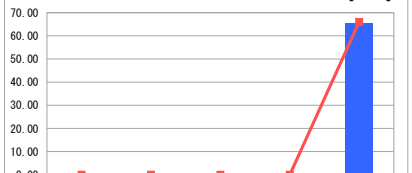
【48.33】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	56.74
平均値	-	-	-	-	29.19

⑧有収率(%)

【70.34】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	65.58
平均値	-	-	-	-	66.04

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【35.50】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	61.54
平均値	-	-	-	-	28.04

②管路経年化率(%)

【16.16】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	66.45
平均値	-	-	-	-	11.15

③管路更新率(%)

【0.28】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	2.33
平均値	-	-	-	-	0.25

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
黒字経営に努め、100%超を継続していきます。
③流動比率
継続して100%超を維持していきます。
④企業債残高対給水収益比率
企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して低い水準ですが、老朽化した固定資産の取替更新のための財源確保のため、多額の起債が予測されます。
⑤料金回収率
（給水原価が変更となるため、実数字は57.03%）
料金回収率は類似団体平均を上回っている状態ですが、100%を下回っています。しかし、小規模な簡易水道事業においては一定の補助も必要であるため、現状維持を目標とします。
⑥給水原価
（左記グラフは、決算状況調査により自動作成されているものです。グラフ内で示している給水原価には、本町の給水事業以外の数字が含まれているが、修正不可とのことで実際の数字は246.22円である。）
類似団体平均より低いですが、適切な費用計上に努めます。
⑦施設利用率
類似団体平均を上回っていますが、人口減少や財務状況の悪化に対応したスペックダウンや、スケールダウンについても検討していきます。
⑧有収率
漏水調査等を引き続きおこないます。

2. 老朽化の状況について

管渠経年化率及び有形固定資産減価償却率が、比較的高い数値となっています。これは、他自治体と比較して老朽化した資産を多数保有し、取替更新やその維持に多額の資金が必要となる可能性が高いことを意味しています。

全体総括

本年度から公営企業会計を適用しました。このことにより、減価償却費等を含むすべてのコストを見える化したところ、特に老朽化が進んでいることが明らかとなりました。固定資産の老朽化による取替更新の増加は、経営を圧迫するおそれがあるため、計画の策定や国庫補助金等の活用を検討し、更新事業を行っていきます。